

# たいよう

## 2017年冬号

さいたま市南区別所 2-29-8    Tel:090-7843-8653 Fax:048-864-8686  
E-mail:info@saine-2013.com    URL:http://saine-2013.com

今年度の市民共同太陽光発電事業（埼玉県・さいたま市）は、見沼区の中川自治会館に設置することとなりました。皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

◎ 今年度6月の第5回総会は提案議題をすべて承認、無事終了しました。理事に田畑保氏・仲丸教子氏・中村剛志氏、監事に本山豊氏(理事→監事)の各氏が新たに選ばれました。(※この項2018, 1月訂正)

◎ 総会記念講演 吉原毅氏（城南信用金庫前理事長・原発ゼロ自然エネルギー推進連盟会長）

「原発ゼロ、温暖化防止へ、自然エネルギー活用で地域から日本経済の再生を」 <概要>

《信用金庫とは何か?》 協同組合の金融機関。1977年に就職した時「銀行に成り下がってはいけない！自分さえ良ければ=すべて金の弊害。お金は麻薬だよ！」と三代目の言。自分から創っていく社会が協同組合主義だと言われました。

《何が正しいのか?》 今の日本の政治は上ばかり見て独裁になっている。原発が爆発してコストは安くない！廃棄物処

理まで費用はほぼ無限大。計算できないのが経産省！「原発は全く採算に合わない！」。原発1基100万kW=1GW、世界では400GWでとまっている。太陽光・風力発電はその倍の800GWまで急増、世界はどんどん自然エネルギーになっている。今一番は中国の太陽光発電パネル、ゴールドウイングの風力発電です。

《太陽光発電は地域に大きな利益》 パネルは30～40年もつといわれ、減価償却後は全部利益です。25年保証です。今、力を入れているのがソーラーシェアリング。2003年長島彬先生が植物は光が当たりすぎると葉緑体が光合成を止めちゃうのを知り、農地を借り実験。光をカットすると里芋なんかむしろ増収。光を2/3にする。日本の農地は田畑を合わせて460万ha、1haあたり400kWの発電で1840万



GW。世界の太陽光発電400万GWの4倍が日本の農地だけでお米や野菜ができた上にできる。素晴らしいことです。

《**自然エネルギー電力普及のネックは電力会社**》 自然エネルギーの電力を買わない。原発1基造るのに5000億円、今は約1兆円。ヨーロッパでは原発1基に武装した兵隊150人で守るのが常識。日本はガードマンだけ。50基の原爆を抱えているのと同じ。本気で考えるならば、原発はコストが高い、危険が高い、安全性がない。

《**ソーラーシェアリングの威力**》 1. 5反(1500㎡)で50kW発電できる。50kW作ると仮に1350万円の投資で年間100数十万円入ってくる。10~20年間売電できる。農家の方々におすすめしています。秋田の大潟村には、3メートルの大型コンバインが入れる、30度で雪がスルッと落ち、夏は涼しく、冬は放射熱で雪が溶けやすい、そういうソーラーパネルを入れている。ソーラーパネルで、年収10~20倍、今まで年収500万円の農家が5000万円の収入。お孫さんが帰ってきます。お金があれば完全な温室栽培ができる。CO<sub>2</sub>は光合成のエサ、トマトはCO<sub>2</sub>を入れると4倍の収穫。オランダは世界第2位の農業生産国。日本もそうになれる。何十兆円も石油等で外国に払っていたお金で、できていく。これは右・左ではなく利権とうそつきの問題。

《**途上国では**》 ナイロビの砂漠で電気を作って水を汲んで緑地化していく。自然エネルギーで足りる。食料も電気も足りる。世界の問題が解決できる。海外のエネルギーに依存しなくてやっていける。自然エネルギーが世界の人々をいかに幸せにするか、安心感がある理想社会を創る、これが労働組合・協同組合の仕事だと考えます。興味あったら呼んでくだされば飛んでいきます。(拍手)

## ◇**市民・地域共同発電所全国フォーラム2017 in 福島(11/2~4)に参加して**

このフォーラムは9回目。危険でコスト高の原発や石炭火力発電に依存しない自然エネルギー100%社会へ、市民・地域共同発電所の普及拡大にとりくむ全国の仲間がひらいたもの。今回のフォーラムでは、地域で自然エネルギー電力を生産するとともに供給者となる新電力の設立が大きなテーマとなりました。

地域新電力では、自然エネルギーを供給している相手の顔の見える電気を売っている「**みんな電力**」(東京)。地域の創生をはかることを目的に電力事業をすすめ、お年寄りの見守りなどの生活支援サービス、ポイントをつけて地元の商店からの買い物を促進する「**みやまスマートエネルギー**」(福岡県)。2040年までに再エネ電気100%をめざす福島で、省エネと自然エネルギーの開発、福島への貢献をめざす「**ふくしま新**

電力」。エネルギー消費で流出する資金を地域にとどめ、自然エネルギー発電事業者や地域内企業に資金をまわそうととりくむ「ローカルエナジー」(米子市)。地域社会と民間企業が共生した地域新電力事業の構築をめざす「みらい電力」(愛知県)が活動を報告。参加者に大きな刺激とアドバイスを与えるものとなりました。

4日は、**土湯温泉のバイナリー発電**を見学。バイナリー発電とは、地熱エネルギーを有機溶剤の蒸気に変換、タービンをまわして発電するもので、土湯では出力400KW、年間300万kwh(約800世帯分)の電力を供給しているとのことでした。日本での地熱ポテンシャルの可能性と、実現への苦労話は感動的なものでした。

### ◇「Tomorrow パーマネントライフを探して」上映会をして

11月24日(金)浦和コミュニティセンターで、NPO法人エコツーリズム・ネットワーク・ジャパン(吉崎健一郎氏)との共催で実施しました。小学生・高校生を含め32人が参加。女優で監督、子どもをもつ母であるフランスのメラニー・ロランが、未来のために人類滅亡の危機の解決策を求めて世界を旅に出るドキュメンタリー映画。フランスでは110万人が観て記録的な大ヒット。食・エネルギー・地域通貨・地域づくり・民主主義・教育など世界の新しい暮らし方を紹介するものでした。

<感想> ◆非常に新鮮で興味深い内容で勉強になった◆自分の考えていたことが映画になっていた◆出てくる人が皆生き生きとしている。自分でもやってみたいことがあった◆短時間ながら、政治・コミュニティ・教育等々、相互に関係していることが分かった◆無駄をなくすこと、当然を疑うこと、未来の可能性の話、勉強になった◆インドの例、「目からうろこ」だった◆フィンランド、自己責任論の強い日本とは大違い◆コミュニティ通貨は素晴らしいと思うが、理解しがたい点もある◆逆の意見、現状の課題なども知りたい◆もう一度観てみたい。

### ◎埼玉自然エネルギー協会と市民の協力で実現した市民共同太陽光発電所の実績

◆まきば保育園(さいたま市) 13.25KW (※この項、夏総会特集号での数字は誤りでした。訂正します。)

2017.3.24 発電開始 年間予想発電量1万6069kwh 年間予想CO<sub>2</sub>削減量 約8.1

トン

◆デイサービスセンター采女の里(三郷市) 6.88KW

2016.3.27 発電開始 17.3.31 までに 7794kwh 発電 CO<sub>2</sub>削減量 約 3.9トン

◆スターファーム保育園(上尾市) 5.6KW

2016.3.29 発電開始 17.5.22 までに 4330kwh 発電 CO<sub>2</sub>削減量 約 2.2トン

◆めだか保育園(さいたま市) 13.8KW

2014.3.3 発電開始 17.3.31 までに 4万 4664kwh 発電 CO<sub>2</sub>削減量 約 22.5トン

### ◎那須市民共同太陽光発電所草刈り、8月2日に実施



合同会社那須市民共同発電（株式会社自然エネルギー武蔵の子会社）の事業として取り組んでいる那須市民共同太陽光発電所（49.0kwh）は、2016年7月21日の開所式以降、順調に発電を続けています。

2016.7.12 発電開始、2017.11.23 までに 11万 772kwh を発電、CO<sub>2</sub>削減量は約 55.83 トンです。今年も春から周囲の雑草がよく伸び、8月2日、パネルへの影響を除くための草刈りを3人で1日ばかりで実施しました。(URL：<http://nasu.ne-musashi.com/>)

### ◎NPO 埼玉自然エネルギー協会のホームページに、ぜひアクセスを

協会の活動や取り組みの進み具合などを紹介するホームページが充実してきています。投稿欄もできました。また、自然エネルギーにかかわる一問一答の広報のページ「家族で学ぶ自然エネルギー」のページもあります。当協会ホームページをときどきぜひご覧ください。未来に向かって原発のない再生エネルギー中心の豊かな社会創りを目指して学び行動していきましょう。(アドレスは [URL:http://saine-2013.com](http://saine-2013.com))